

2025年度 情報科学研究科 博士前期課程 授業時間割

曜日	時限	前 期		後 期	
		前期前半	前期後半	後期前半	後期後半
月	1		◎ソフトウェア工学特論 (井垣・尾花・本田) [1602] (M8CJ005)		
	2	◎計算機構成論 I (大原、水谷、小西、中西知) [1602] (M8CJ001)	◎計算機構成論 II (大原、水谷、小西、中西知) [1602] (M8CJ002)	◎情報セキュリティ特論 I (福澤) [1602] (M8CJ014)	◎情報セキュリティ特論 II (小島) [1602] (M8CJ015)
	3				◎情報数学特論B (平嶋) [1603] (M8CA017)
	4		□機械学習論 (平) [1602] (M8CA019)		
	5	◎データサイエンス実践特論 (濱田) [1602] (M8CJ023)	◎データマイニング特論a (江口) [1602] (M8CJ025)		
火	1	□通信ネットワーク構成論A (小島、酒澤) [1602] (M8CJ016)	□通信ネットワーク構成論B (酒澤、小島) [1602] (M8CJ017)	◎分散情報システム特論 (山田) [1602] (M8CJ004)	
	2			◎情報数学特論A (鎌倉良) [1603] (M8CA016)	□生体情報処理特論A (矢野) [1602] (M8CA020)
	3		□☆制御システム特論 (橋本、タン) [1602] (M8CJ006)		◎☆知能情報システム論 (平嶋、佐藤) [1602] (M8CJ008)
	4		◎マーケティングのためのデータサイエンス実践特論a (坂平) [第5情報処理演習室] (M8CJ029)		
	5	□情報科学特論A (平嶋、西口、榎原、河北、平山、尾花、山内雪) [1602] (M8CA008)	◎情報技術者と倫理 (山田、西口、佐野、木村) [1602] (M8AA007)		
水	1		◎☆知識ネットワーク特論 (佐野、平、大井) [1603] (M8CJ010)		
	2		◎☆ソフトウェア構成論 (安留) [1603] (M8CJ003)	◎情報ネットワーク特論 I (島野) [1602] (M8CJ012)	
	3				
	4				
	5				
木	1				
	2				
	3	◎◆英語プレゼンテーションA (ファフェルブス) [1203、自習室3] (M8CA023)	◎◆英語プレゼンテーションB (ファフェルブス) [1203、自習室3] (M8CA024)	◎☆コンピュータグラフィックス特論 (河合、河北) [1310] (M8CJ009)	
	4				
	5			□情報科学特論B (中西知、村木、井垣、真貝、河合、布村、横川) [1602] (M8CA009)	◎情報ネットワーク特論 II (榎原) [1401] (M8CJ013)
金	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
土	1			△◆データサイエンス特論 (濱田、佐野) [梅田キャンパス] (9月) (M8CJ024)	△◆IoTデザイン特論 (荒木) [梅田キャンパス] (11月-12月) (M8CJ031)
	2			△◆データマイニング特論b (江口) [梅田キャンパス] (10月) (M8CJ026)	△◆デジタルツイン実践特論 (佐野) [梅田キャンパス] (12月) (M8CJ032)
	3			△◆機械学習応用特論 (須山) [梅田キャンパス] (11月) (M8CJ027)	△◆ものづくりのためのデータサイエンス実践特論 (菅川、佐野) [梅田キャンパス] (12月-1月) (M8CJ028)
	4				△◆マーケティングのためのデータサイエンス実践特論b (坂平) [梅田キャンパス] (1月) (M8CJ030)

(注) 1. (氏名) は、担当者を示す。
 2. [] は、使用教室を示す。
 3. (M8○○○) は、科目ナンバリングを意味する。
 4. ◎は毎年開講、□は隔年開講科目、☆はセメスター科目、△は集中講義形式、◆は連続コマで構成された科目を意味する。

*** 時間割表にない開講科目で本年度受講可能な科目**

■ 研究(2通年科目)「情報科学研究」

この科目は、所属研究室にて行う研究活動を指します。

※注)前期履修申請期間にWEB履修画面に当該科目の履修が表示されているかを確認してください。

なお、「情報科学研究」の一環として、前期前半終了直後(6月6日の予定)に、研究発表会を行います。

(修士1年生:研究計画をポスター発表、修士2年生:研究内容を口頭発表+ポスター発表)

■ 「インターンシップ」「情報科学演習(学内)(A,B,C,D)」「情報科学演習(海外)」

※注)これらの科目は、条件を満たした活動に対して単位を取得できます。

*** スマート・マニファクチャリングに向けたDXイノベーションリーダー人材育成プログラム**

「データサイエンス特論」「データマイニング特論b」「機械学習応用特論」「IoTデザイン特論」「デジタルツイン実践特論」

「ものづくりのためのデータサイエンス実践特論」「マーケティングのためのデータサイエンス実践特論b」は、梅田キャンパスで、土曜日に集中講義されます。

社会人を対象として開講されるプログラムですが、情報科学研究科の学生も履修し、単位を取得できます。

本研究科の学生の受講料は不要です。

各科目の内容はシラバスを参照してください。

開講予定日は、ウェブページ(<https://www.oit.ac.jp/is/recurrent/index.html> 右のQRコード)を参照してください。

※注)これらの科目は、前期・後期の履修申請期間内に履修申請はできません。

開講時期・内容が決定次第、随時、履修申請を受け付けます。

履修申請期間・申請方法は掲示・ポータルサイト等で周知しますので、注意すること。

ただし、社会人の科目等履修が優先となりますので、科目により、定員に達した場合には履修申請を受け付けられない場合があります。

スマート・マニファクチャリングに向けたDXイノベーションリーダー人材育成プログラム



*** 授業時間** (注)1コマあたりの授業開講回数は、前期・後期開講科目:14回、前期前半・後半および後期前半・後半科目:7回。

1時限 9:10~10:50 2時限 11:00~12:40 3時限 13:30~15:10 4時限 15:20~17:00 5時限 17:10~18:50